

専大スポーツ

No. 267

「専修大学」体育会ホームページ
http://www.senshu-u.ac.jp/campuslife/sports_info/index.html

ゴルフ・関東大学春季リーグ(男子)、関東女子大学春季対抗

男女共3位で全国大学対抗へ



男子の関東大学ゴルフ春季リーグ戦(5月19〜23日、福島県棚田舎倶楽部)と、女子の関東女子大学春季対抗戦(6月3、4日、栃木県サンヒルズカントリークラブ)が行われ、専大は男女とも3位となり、6月の全国大学対抗戦への出場を決めた。

男子チームの主力としてプレーした宮里政志(文3・鹿島学園高)は、「2年連続4位で悔しい思いをしたのでうれしい。キャプテンを中心に、皆で勝つことができ、全国大会でも十分戦えるチーム力があるのだから、優勝目指して頑張りたい」と話した。また、(佐山 竜太・経済2)

女子の小川真実主将(文4・堀越高)は「新チームとして初めての大会で緊張したが、昨年を上回る順位に入ることができて良かった」と話した。また、全国各地で行われたアマチュア選手権(以下アマ)でも各選手が奮闘した。関東女子アマ(5月12、13日、千葉県・京葉カントリー倶楽部)15位の木村麻希(経済3・明徳義塾高)と、中国女子アマ(5月22、23日、広島県戸山カントリークラブ)9位の小川陽子(経済2・香川西高)がともに、6月の日本女子アマの出場権を獲得した。

「完全」で5季ぶり優勝 大学日本一を目指す

準硬式野球・東都大学春季リーグ



5勝を挙げたエース・田中
トップバッター・久保田がチームを牽引

東都大学準硬式野球春季リーグ戦で、専大は5季ぶりの優勝に輝いた。最終戦(5月27日)で駒澤大を5-4で下し、10勝4敗・勝ち点5で全日程を終え、全対戦校から勝ち点を挙げる『完全優勝』となった。

最終戦は5回まで2-4でリードを許したが6回、先頭の6番・辻幸達(法3・若狭高)がヒットで出塁すると、9番・児島祐(経営1・太田市立商高)、1番・久保田真史(商3・太田市立商高)の連続タイムリーで同点。8回、1死2・3塁のチャンスで児島がきっちり外野フライを打ち、辻がタッチアップで生還。勝ち越しに成功した。投げてはエース・田中(経営3・鳴門工業高)、川田展行(経営1・桐生第一高)のリレーで守り切り、接戦をものにした。林真吾主将(経営4・観音寺第一高)は「リーグ戦で着実に実力をつけ、成長できたし、チームがひとつになった」と語った。毎試合、一生懸命プレーする準硬の選手たち。大学日本一を目指し、頑張っている。(佐山写真も)



プロチームの練習に参加することになった渡部

渡部がJリーグ特別指定選手に 柏レイソルに参加

ポディビル・全日本学生パワーリフティング

根本 100kg 超級で初優勝



専大として初の快挙となった根本の優勝

サッカー部の渡部博文(経済3・山形中央高)が、JFA・Jリーグ特別指定選手として日本サッカー協会に承認され、J1(リーグ1部)の柏レイソルの練習に参加することになった。専大では03年の本多剛さん(平16法)以来2人目。大学などの第2種所属チームに登録したまま、Jリーグ等の試合にも出場可能となる。

渡部は185センチの長身で、ディフェンダーに強い技術を持ったセンターバック。ディフェンスの柱として関東大学リーグ戦の第1節からスタメンで出場している。「プロで試合をしてみたいと思っていたので、このようなお話をいただき、光栄です。練習に参加し、周りの選手は強い意志を持っていて、速さも技術も高いと感じました。その

は力をつけるチャンス。結果がすべての世界なので、力を出し切るよう頑張ります」と語った。

源平貴久監督は「プロ張ってもらいたい」とエールを送っている。

関東大学サッカーリーグ 前期6位で折り返す

関東大学サッカーリーグ(前期)が終了し、専大は3勝4敗4分・勝ち点13で、全12チーム中6位でシーズンを折り返した。

源平監督は「リーグは混戦で現在の順位はあてにならない。秋までどこに力がつくか、良報2、撮影・佐山」

800メートルで佐藤が優勝

5000メートルは木下3位



カップを手に喜びの佐藤

陸上競技・関東学生対校
関東学生陸上競技対校大会(経済2・村上桜ヶ丘)が5月17、18、24、25の4日間、東高(1分51秒44)で優勝。京都の国立競技場で開催を遂げた。

「先頭で引っ張るレース展開が得意だが、勝つために後方待機作戦を選んだ」と話し、「思い切った勝負の結果に負けたのが結果につながった。チームに貢献できてうれしい」と笑顔を見せた。1500メートル7位に入賞。「佐藤には期待していた」と言う加藤覚監督に、見事に結果で応えた。

5000メートルでは木下卓

全日本学生パワーリフティング選手権が5月25日、愛知県の名城大学で行われ、ポディビル部の根本太平(法2・市立川崎高)が100kg超級の部で見事、優勝を果たした。

根本は関東学生選手権(5月10、11日)東京大田学駒場キャンパス)ではスクワット・ベンチプレス・デッドリフトの3種目合計675kgで優勝し、全日本学生の出場権を獲得。6年前、同好会から昇格したポディビル部に初の優勝をもたらした。

関東学生後、「全日本でも優勝を目指す」と宣言していたが、まさにその言葉を現実させた。記録はスクワット250kg、ベンチプレス190kg、デッドリフト265kgの総合705kg。すべて、彼の活躍が部を盛り上げる起爆剤になるだろう。(松本 かおり・文3 写真も)

「阪南大・森選手が強く、緊張状態が続いた。精神的に疲労した大会だったが、大きな自信が湧いた」と話した。

部員12人中、唯一のパワーリフティングの選手。彼の活躍が部を盛り上げる起爆剤になるだろう。(松本 かおり・文3 写真も)

ONE DAY TEAMMATE 2008

参加者募集中!

大学生の練習に参加しパワー・スピード・テクニックを体感しませんか? 参加費無料。詳細は体育会ホームページまたは、体育事務課 ☎044(911)1273へ。

▽開催日、実施競技部

- 7/5 アメリカンフットボール、東洋伝拳(商3・報徳学園高)が5位に入賞し、大学別総合得点は20点で10位だった。
- 7/13 バスケケットボール(女子)
- 7/19 ボクシング
- 7/20 ポディビル、バスケケットボール(男子)
- 7/26 空手
- 7/27 テニス(男子)
- 8/1 ハンドボール
- 8/2 合気道、体操
- 8/5 水球、ゴルフ
- 8/31 アーチERY
- 9/7 ローラースケート